

令和6年度青葉区eスポーツ事業検討会資料

高齢者の社会参加促進に向けた eスポーツ事業の今後の展開

令和7年3月4日

青葉区高齢・障害支援課

1 背景

強み

- ・ ソーシャルキャピタル得点が高い (JAGES)
- ・ グループ活動へ参加意向がある者の割合が高い (JAGES)
- ・ インターネット・SNSを毎日使う高齢者が多い
(R4桐蔭学園調査)
- ・ 将来の見通しを立てて実行する力が高い
(R4桐蔭学園調査)

弱み

- ・ 75歳以上高齢者の増加率は市で一番多いと予測されており、今後高齢者が急激に増加する
- ・ フレイルの高齢者は比較的少ないが、プレフレイルの高齢者は多い (プレフレイルは全国75市町村平均より多い。JAGES)
- ・ 町内会・自治会、老人クラブ参加者が少ない
(全国75市町村平均よりも悪い。JAGES)
- ・ 調査の結果、男性の参加者は女性の半分以下と少ない
- ・ 60代から精神的・身体的ウェルビーイングが著しく低下して
いく (R4桐蔭学園調査)

課題への対応

- 高齢者が地域とつながりを持つことで、フレイル予防につなげる
- 虚弱になっても参加できる通いの場が地域にある
- 地域の通いの場に参加する男性を増やす
- 地域に早い段階から関われるようなきっかけづくりが必要 (地域団体の高齢化・固定化対策)
- 今後高齢者となる人が地域に参加したくなるコンテンツが必要 (既存の取組であるゲートボールや麻雀ではないもの)

年齢、性別、身心の状況等を問わずに広く楽しめるプログラムを取り入れた通いの場を身近な地域に展開していく必要がある

2 eスポーツ事業コンセプト

<VISION> (目指す姿)

生きがいのある自分らしい人生を送ることができる地域

<CONCEPT> (方向性・考え方)

D&I (ダイバーシティ & インクルージョン)
多様な人材が集まり、それぞれの個性や能力を活かしながら、誰もが活躍できる地域

<PLAYER・TARGET> (誰に対しての事業であるか)

～地域は、性別、年齢、価値観ライフスタイルが異なる多様な個人の集合体～
元気な高齢者、虚弱な高齢者、障害のある高齢者、認知症の高齢者だけではなく、
子供、若者、成人・・・ **eスポーツをキーに様々な区民を結び付けていく**

<PLAN> (施策)

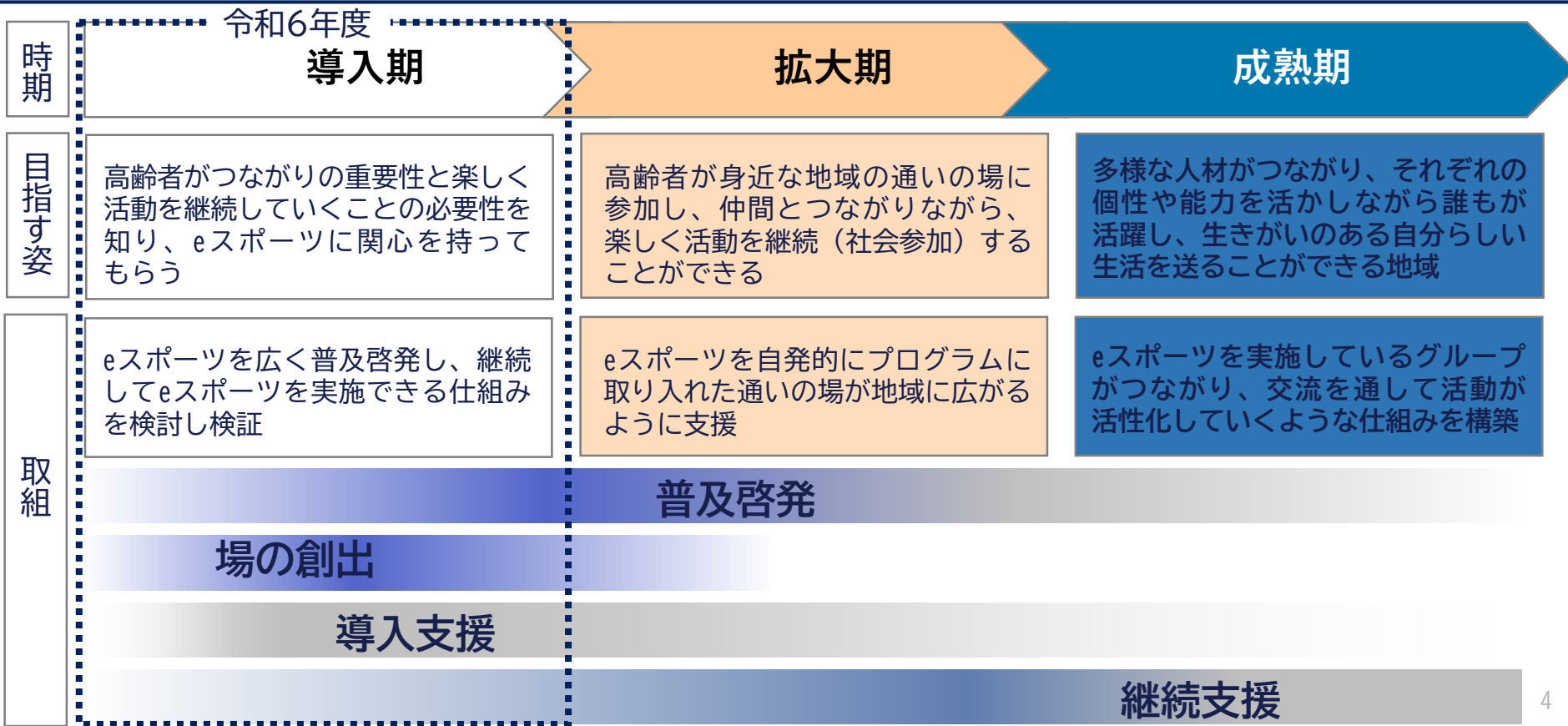
青葉区における高齢者向けeスポーツを「日中、公共の場で皆で楽しみながら行う電子機器を用いて行うゲーム」と定義し、以下の目標に向けて事業を展開する

- 新たな「通いの場」の可能性を広げる事業を目指す
- 持続可能な中長期的な事業を目指す
- 最終的に、高齢者だけではなく、様々な年代・身体状況の方が楽しめる事業の検討を目指す

<KPI> (施策指標)

■高齢者の通いの場への参加率 令和3年度6.0% → 令和7年：8.2% (横浜市中期計画より)
※青葉区5.5% (令和4年5月)

3 eスポーツ事業ロードマップ



4 令和6年度スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
普及 啓発		○ 区内施設職員体験会		□ 区連会周知		体験会@6地域ケアプラザ		□ 広報よこはま11月号				
								○ 体験会（区老人クラブ研修、講演会）				
場の 創出						○ 体験会 @老人福祉センター						
導入 支援		機器購入	地域ケアプラザとの調整、マニュアル作成 区役所、地域ケアプラザでの機器貸出									
		○ 始め方講座①							○ 始め方講座②			
継続 支援			○ 区内チームがねんりんピック県予選参加					○ 区内チームが市庁舎エキシビションに参加				★検討会

5 令和6年度の取組

普及啓発

場の創出

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER
YOKOHAMA

①区内施設職員向けの体験会（21名参加）

地域ケアプラザ、老人福祉センター、区職員が参加

②区内施設と連携した体験会（全7回、計93名参加）

知 る 楽 し む
関 心 を 持 つ

区連会、各施設での案内、広報よこはま青葉区版11月号、区ホームページにて周知

No	開催日	開催場所	参加者数
1	8月26日（月）	すすき野地域ケアプラザ	16名
2	9月11日（水）	横浜市ユートピア青葉	9名
3	11月11日（月）	大場地域ケアプラザ	17名
4	12月5日（木）	奈良地域ケアプラザ	17名
5	12月6日（金）	恩田地域ケアプラザ	13名
6	12月9日（月）	荏田地域ケアプラザ	11名
7	12月11日（水）	鴨志田地域ケアプラザ	10名
		合計	93名



課題1

紙媒体で伝えることの難しさがあり、なかなか参加まではつながらない。

「eスポーツはよくわからない」「私には関係ない」

5 令和6年度の取組

普及啓発

場の創出

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA

【体験会参加者アンケート結果】

参加者の属性 <性別> 男性:25名 (26.9%) 女性: 67名 (72.0%) 未回答: 1名 (1.1%)
<年代> 50代: 1名 (1.1%) 60代: 11名 (11.8%) 70~74歳: 13名 (14.0%)
75歳~79歳: 30名 (32.3%) 80代: 28名 (30.1%) 90代: 2名 (2.1%)
未回答: 8名 (8.6%)

今後もeスポーツを継続したいか		
項目	人数	割合
とても思う	29	31.2%
まあ思う	60	64.5%
あまり思わない	1	1.1%
思わない	0	0%
未回答	3	3.2%

近くにeスポーツの場があったら行ってみたいか		
項目	人数	割合
行ってみたい	64	68.8%
どちらともいえない	21	22.6%
行きたくない	1	1.1%
すでに参加している	7	7.5%

所属団体活動にeスポーツを取り入れたいか		
項目	人数	割合
取り入れたい	43	46.2%
どちらともいえない	20	21.5%
取り入れたくない	1	1.1%
所属団体はない	20	21.5%
未回答	9	9.7%

課題2

体験会に参加するだけで終わってしまう。運営側に回ることにはハードルを感じる方が多い。

「eスポーツの場があればまた行きたいけど、運営側に回るのは無理」「始め方講座には参加しない」
「ゲーム機器のセッティングまでは私にはできない」

5 令和6年度の取組

普及啓発

場の創出

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA

③区老人クラブ 友愛活動委員会研修

- ・ 9地区の部会長、副部会長が参加
- ・ その後、試行的な活動をした会も



④フルル予防講演会コーナー設置

- ・ 講演会開演前に体験コーナー設置してPR



5 令和6年度の取組

導入支援

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA

⑤eスポーツ始め方講座

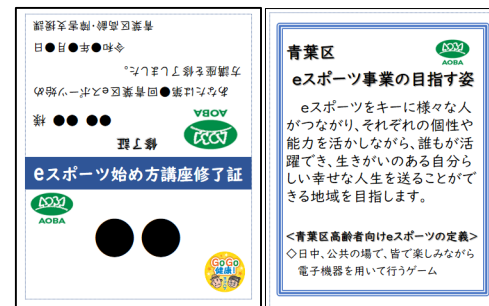
自分でやってみる

No	開催日	参加者数	主な声掛け先	参加者属性
1	5月8日(水)	16名	R5年度体験会参加者	老人クラブ、自治会、地域ケアプラザ、 元気づくりステーション、事業者
2	12月23日(月)	10名	R6年度体験会参加者	

【対象】 eスポーツを地域活動に取り入れたい方

【内容】 ・ 機器接続やゲームの設定方法、参加者への声掛けのコツを伝授

- ・ (2回目)機器接続実践、eスポーツ取り入れた老人クラブ会長との座談
- ・ 名札型の修了証を交付し、活用依頼



5 令和6年度の取組

導入支援

⑥ゲーム機器貸出 自分でやってみる

区役所・地域ケアプラザを窓口 to 機器貸出 (Nintendo Switch/太鼓の達人ソフト/太鼓とバチ)

【貸出実績】22団体 延べ37回 (令和7年2月末時点)

主な貸出先：地域のサークル、サロン、老人クラブ、自治会

貸出機器を活用した地域ケアプラザでの取組例

- ・区老人クラブ連合会と連携し体験会を定期開催
- ・既存の集まりで体験会を開催
- ・機器の設定やメリットなどをレクチャーのうえ貸出

貸出時期	貸出窓口
9月～11月	すすき野地域ケアプラザ
10月～12月	恩田地域ケアプラザ
12月～2月	大場地域ケアプラザ
1月～3月	奈良地域ケアプラザ
9月～3月	青葉区役所

課題3

- ・始め方講座や機器貸出だけでは、各活動場所で自らやっていただくことはなかなか難しい。
「講座には出たけど、機器セッティングが難しい」「〇〇という画面が出たけどどうしたらいいのか」
- ・高齢者には貸出機器の運搬が困難。
「車がないと運べない」「近くの地域ケアプラザで借りられるといいのに」

課題4

- ・試行的に1回は実施した場合でも参加継続には仕掛けが必要。

6 自走的な活動事例（老人クラブ）

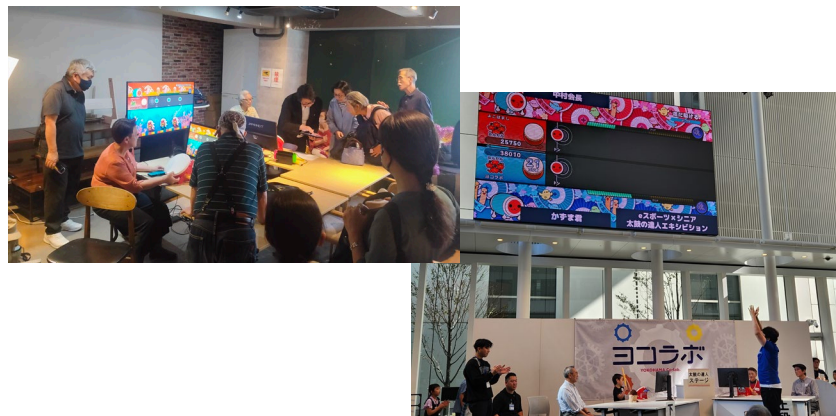
【中恩田亀楽会】

- ・ 1回目の始め方講座参加
- ・ 定例の集まりの新コンテンツとしてeスポーツを開始
- ・ 他の活動時にチラシでPR
- ・ 90代の方が新規参加

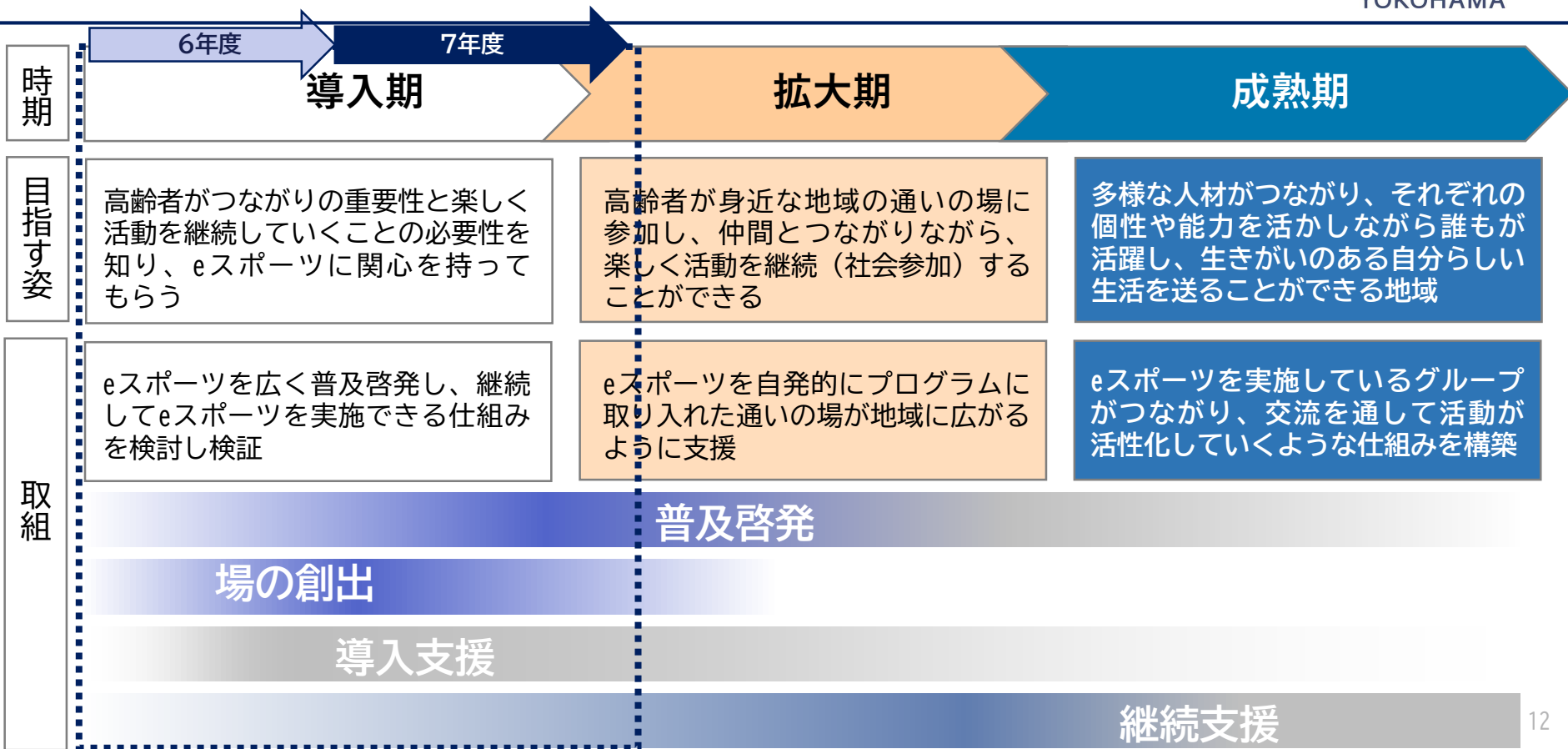


【青葉もみじ会】

- ・ 1回目の始め方講座参加
- ・ ねんりんピック県予選会（6月）、市庁舎アトリウムイベント（11月）出場



7 令和7年度の方向性



8 令和7年度の取組（案）

課題1

eスポーツの楽しさ、手軽さが伝わりにくい、参加を躊躇

課題2, 3

始め方講座、機器貸出だけでは自走できない

課題4

参加継続には仕掛けが必要

取組案 まずは既存活動をターゲット

動画 ロゴマーク

団体の集まる場で
「楽しそう」
「やりたい」
気持ちを醸成

楽しく

派遣型の 支援

活動場所で
回数限定の
自立に向けた
支援

主体的に
活動

対抗戦

参加者を募り
対抗戦を開催

交流
つながり
活動成果

既存活動
を
活性化

新規参加
活動継続
他団体交流

<拡大期>
目指す姿

高齢者が
身近な地域の
通いの場
に参加し、
仲間とつな
がりながら、
楽しく活動
を継続
(社会参加)
することが
できる